

新入職員に入職5か月を迎えての感想を聞いてみました！

Q.入職してから感じたことは？

・色々な利用者さんがいて毎日が楽しいです。また、働くことの大変さや楽しさを感じています。

Q.利用者さんとのように接していますか？

・コミュニケーションは返答だけにならないよう少し会話を繋げて話しやすい雰囲気になるように心がけて接しています。

今後の抱負

・技術面で未熟な点はまだまだあるが、精一杯頑張りたいです。
・利用者さん一人ひとりに合った対応ができるようになりたいです。

(本館3階 認知症専門棟 吉満もえ)



Q.入職してから感じたことは？

・職員さん同士の仲が良く、利用者さんとも家族の様に接していると感じました。

Q.利用者さんとのように接していますか？

・利用者さんの気持ちに寄り添いその人に合った声掛けやケアを心がけています。

今後の抱負

・他の職員さんや利用者さん、ご家族にも「この人なら任せられるな」
と思ってもらえるような介護士を目指します。

(新棟 渡邊李華)



ご利用者さまの心を和ませた 思い出をご紹介します



7月7日(木)七夕さまに合わせて、笹ならぬ竹を代用して、飾りつけをしていただきました。

6月26日(日)に和菓子バイキングを開催。職員バンドによる、懐かしのメロディを聞きながら、同席となられた方々と談笑、美味しそうに和菓子を召し上がられていました。



令和4年8月31日発行

ウェルケア
広報誌
Vol. 61

こころ

【発行者】

医療法人社団 裕正会

介護老人保健施設 ウェルケア新吉田

<https://www.welcare.or.jp/> TEL:045-590-3855(9:00~17:30)

1面:●施設長より新型コロナについて ●事務次長よりメッセージ

2、3面:●デイケアのご紹介●仔猫保護しました4面:●新入職員 入職5か月を迎えて●思い出紹介

新型コロナウイルス感染症との闘い、途中経過

新型コロナウイルスによる感染がスタートしたのは2019年です。ですから、このウイルスによる感染症はCOVID-19と呼ばれています。日本では、2020年初めに患者が発見されました。

2020年日本では患者の数は増えませんでした、世界では大変な数の患者が現れ大混乱になりました。このウイルスのことがよくわかっていなかったのと、検査法と治療法も確立していなかったためです。このウイルスによる感染症を発症すると、肺が障害されて呼吸困難になる方が大勢いました。また、今では多くの方が実感していますが、感染症が世界経済に影響を与えるというのを知らされました。

その後ウイルス自身の形が変わり、その度に患者数が劇的に増えるというのを全世界で繰り返しました。一部の説では、ウイルスは自身の形が変わるたびに弱毒化し、感染しやすくなると言われています。

2022年現在流行している新型コロナウイルスは、感染しやすいですが、ワクチンのおかげもあり、重症になる方は少ないようです。

安価で有効な薬ができれば、新型コロナウイルスはインフルエンザウイルスと同じような対応になると思われます。まだ新型コロナウイルスを恐れず生活することができませんが、インフルエンザウイルスのように、恐れず付き合っていけるようになる日は遠くないような気がします。希望的観測ではありますが…

(施設長 橋本佳巳)



利用者様の在宅復帰、在宅支援をお手伝いさせて頂くウェルケア新吉田において、コロナ禍でご家族様にイメージして頂く事が大変難しいと考えておりますのが、利用者様の現在のご様子についてです。コロナが始まる前は、自由にご面会を頂く事が出来たこともあり、施設での生活のご様子やリハビリのご様子を実際にご覧いただき、現場の介護士や看護師、リハビリの職員からも日頃のご様子を報告させて頂く事や、リハビリの状況をご説明させて頂く事が出来たこともあり、自宅での生活が可能か否か、ご家族様にもイメージして頂きやすかったと考えております。現在は、自由にご面会頂く事が難しい状況のため、現在の利用者様のご様子をわかりやすく、イメージして頂きやすいように、どのようにお伝えさせて頂くか、という事が一番の課題と考えております。

お電話などで、ご様子のご報告をさせて頂くよう、努めておりますが、ご様子をイメージして頂く事が難しいかと存じます。施設の中で歩いている…と言われても、イメージが出来ない、というご家族様もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ご希望がございましたら、リハビリのご様子や、日頃の生活のご様子などを動画で撮影し、ご覧頂く事も可能です。ご家族様にもイメージして頂きやすいよう、お手伝いをさせて頂ければと存じます。ご希望の際は、担当の支援相談員までお気軽にご連絡下さい。
(総合相談室 室長 支援相談員 藤澤哲)

ウェルケアのデイケアをご紹介します！

デイケアとは

ウェルケア新吉田には入所ご利用のほか、通いでリハビリをされる方々を支援する、『通所リハビリテーション(通称デイケア)』というものがあります。

ご自宅⇄当施設を専用の送迎車でお迎え・お送りをし、ご自宅では困難な方の入浴、集団での体操やレクリエーション、リハビリ専門職が行う個別リハビリテーション、他者との交流の場として活動性の維持をしていただく等の場所としてご利用いただいております。



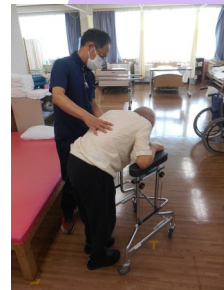
デイケアフロア



体操の様子



絵手紙の作成



リハビリの様子

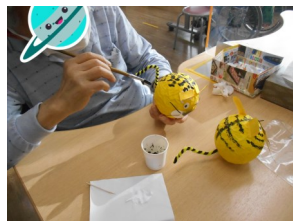
ご利用者様からは、『自宅だと浴槽には入れないし、片付けも大変だから助かる』『だんだん足が動かなくなるからリハビリで見てもらえると心強い』『家で一人だと一日誰とも話さないこともあるから、誰かとお話しできるのは楽しい』など頂いております。

また、ご家族様からは、『お風呂を介助するのは自宅だと大変だった』『リハビリってどんなことをしているのかわからないから、専門の方に任せられて安心』『夜は一緒だけど、日中は自分も働きに出ているから、その間一人にしておくくと不安で…』などのお声をいただいております。

年間行事もあり、季節を感じて頂けるように夏祭りやクリスマス時期では特別プログラムとして景品やプレゼントを差し上げる催し物もあります。夏祭りでは縁日さながらにヨーヨー釣りや輪投げや射的など、クリスマスではサンタクロースに扮した職員が皆様にプレゼントを配り、節分時はこちらも職員が扮する鬼に目をつけての豆撒きなどでその時々の季節を楽しんでいただいております。



クリスマス行事



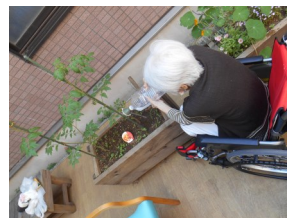
干支の張り子

毎年お正月のレクリエーションで作る『干支の張り子』は、お迎えに伺うと玄関先に並べて飾られている方もおられ、『12個は並べられないわ』と笑ってお話くださいました。

このように、通所される皆様やまたそのご家族様の笑顔の機会を増やすことを目標に、施設職員は日々ご利用者様に関わらせていただいております。

中庭を作って…

雑草だらけの中庭の草むしり・土の整備などをして、花の種や作物の苗を植えたことで、来所のたびに生育を楽しみにされる方が増えました。来所してまずは中庭を見る方、リハビリ歩行訓練のコースに中庭前を通って行く方、あまり自席から動かせない方も『何咲いているの?』と興味を持たれるなど、何もない時よりも確実に皆様の楽しみの一つになりました。



水やりの様子



中庭に生った苺

昨年、2株だけ植えたイチゴが、なんと今年は20株以上に！ 特別に丁寧な手入れをしていなかったにもかかわらず、どんどんと広がっていき花を咲かせ、付けた実は100個ほどに！ 繁殖力も他の植物を凌ぐ勢いで、中庭の半分はイチゴ達に占められました。このまま行くと来年の中庭は全面いちご畑になるかも…。

今年は味見の意味も含め職員がいただきましたが、来年はご利用者の方々にも召し上がっていただけたらと夢は膨らみます。



短時間デイ

デイケアでお過ごしのご利用者さまは6～7時間という時間枠の中で、リハビリの他に入浴やレクリエーション、昼食やおやつなどご提供させていただいておりますが、その他1～2時間の枠でリハビリのみを行う『短時間デイ』というものがあります。

専門職による個別リハビリのほか、集団体操や器具を使ったマシントレーニングを行なっています。今年の春からマシン器具が新しくなり、ご利用者様ご自身で設定可能なタッチパネル式のコントローラーで自立したトレーニングも行えます。

実際の重りではなく機械により負荷の調整ができるため、女性の方も無理なくトレーニングが行えます。加齢により低下する筋力をマシントレーニングで鍛えましょう！



マシントレーニング中

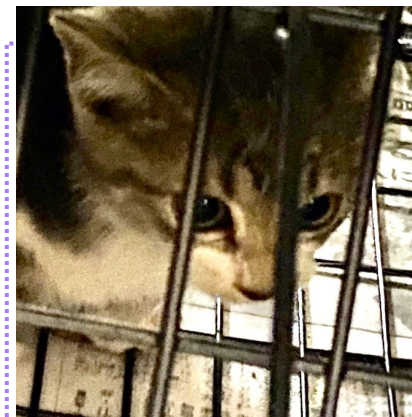


皆さんで体操



マシンのタッチパネル

令和4年7月 ウェルケアに迷い込んだ仔猫を保護しました。



保護直後



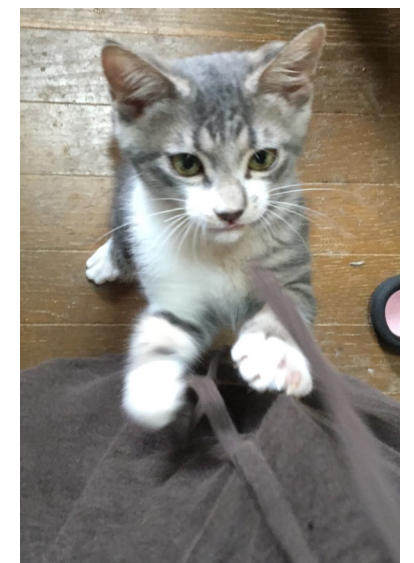
デイケアの裏庭で数日前から、仔猫の鳴き声がしていました。

7月15日 朝 仔猫発見！！

保護しようにも仔猫は物陰に隠れてしまい出て来てくれません。



ネコ好き職員による「仔猫保護大作戦」がスタート。
結果：無事に保護されました。



一ヶ月後のメンマ君

仔猫は、ウェルケアのネコ好き看護師さん宅に引き取られ「メンマ」と名付けられました。

先住猫たちにも温かく迎えられたようです。

保護されて、ひと月あまり。

こんなに大きくなりました。

